

時代区分 IV (4)-①尖閣諸島における琉球警察の取締に関する新聞記事

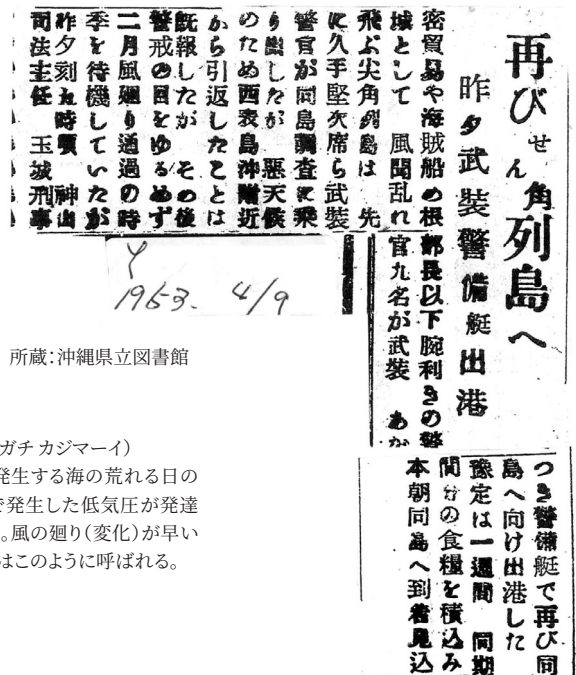
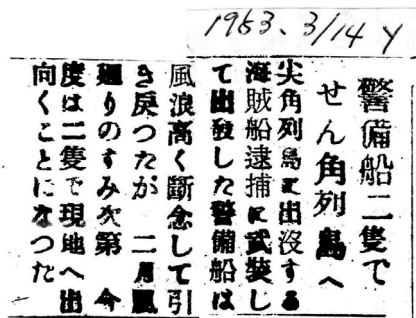
琉球警察による調査が実施されたことを伝える記事

No.57 琉球警察警備艇あかつきの尖閣諸島派遣
 報H29/P22 (八重山毎日新聞記事1953年(昭和28年))

1953年(昭和28年)3月14日付 八重山毎日新聞記事
 1953年(昭和28年)4月9日付 八重山毎日新聞記事
 1953年(昭和28年)4月11日付 八重山毎日新聞記事

資料概要

琉球警察による尖閣諸島の取締を伝える八重山毎日新聞記事(1953年(昭和28年)3月~4月)。戦後、尖閣諸島は、石垣町(1947年(昭和22年)より石垣市)の行政区画とされていたが、主島である石垣島から遠く離れており、戦時中にはすでに無人島となっていた。そのため、戦後間もない時期に、尖閣諸島が海賊行為や密貿易の根拠地になっているという噂があった。1953年(昭和28年)、琉球警察は、石垣港に配備されていた警備艇あかつきに司法官及武装警官総勢9名を乗船させ、尖閣諸島に派遣し、現地調査を実施した。その結果は、座礁したという船は全く見当たらず、「海賊船云々はたんなる風評だろう」というものであった。



所蔵: 沖縄県立図書館

内容見本

[1953年(昭和28年)3月14日付八重山毎日新聞記事]
 警備船二隻でせん角列島へ
 尖角列島に出没する海賊船逮捕に武装して出発した警備船は風浪高く断念して引き戻ったが 二月風廻り(※1)のすみ次第 今度は二隻で現地へ出向くことになった。

※1 二月風廻り(ニンガチカジマーイ)
 旧暦の2月頃に発生する海の荒れる日のこと。沖縄近海で発生した低気圧が発達することで生じる。風の廻り(変化)が早いことから、沖縄ではこのように呼ばれる。

内容見本

[1953年(昭和28年)4月9日付八重山毎日新聞記事]
 再びせん角列島へ
 昨夕武装警備艇出港
 密貿易や海賊船の根城として 風間乱れ飛ぶ尖角列島は 先に久手堅次席ら武装警官が同島調査に乗り出したが 悪天候のため西表島沖附近から引返したことは既報したが その後警戒の目をゆるめず 二月風廻り通過の時季を待機していたが 昨夕刻五時頃 神山司法主任 玉城刑事部長以下腕利きの警官九名が武装 あかつき警備艇で再び同島へ向け出港した 予定は一週間 同期間分の食糧を積み込み 本朝同島へ到着見込

作成年月日	1953年(昭和28年)3月14日 1953年(昭和28年)4月9日 1953年(昭和28年)4月11日
編著者	八重山毎日新聞社
発行者	八重山毎日新聞社
収録誌	八重山毎日新聞
言語	日本語
媒体種別	紙・マイクロフィルム
公開有無	有
所蔵機関	沖縄県立図書館
利用方法	沖縄県立図書館で利用手続きを行う